

ARCO-126 20191127

松戸 本土寺・東漸寺

紅葉ウォーキング 2019

紅葉狩りにはまだ早い？

11月14日の夜更けに北風が吹いたのだが、木枯らしと言うには冷たさがなかった。今年の秋の深まりは例年より少し遅れているようだ。まだ最低気温も7度程度で紅葉にはもうすこし待たねばならないのだろうか。昨夜ようやく10℃を下回って小雨気味となった。

11月27日（水）起きると肌寒い。モミジの色付きが進んでいると好いのだが。8時42分JR中央線荻窪駅発に乗り10時北小金駅に到着。

本土寺へ

北小金駅橋上コンコース改札口に、WINGSメンバー3名とGUEST 1名、計4名はウォーキングを開始。駅から北方向に歩を進める。本年始めに観梅ウォーキングをした池上本門寺と同門のお寺だ。始めと終りとを日蓮さんと関わるのも何かの縁かも。



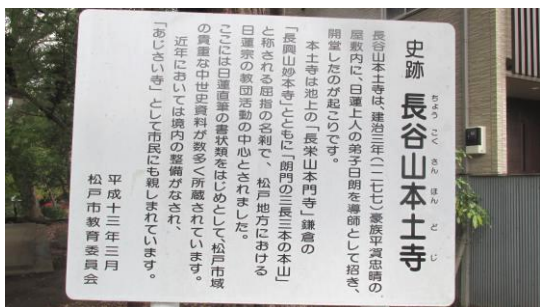
本土寺東漸寺案内図

駅を出て北側へ、飲み屋の多い商店街を抜け、4分程で本土寺の参道に至る。



参道の両側には、蕎麦屋、うどん屋、土産物屋等が軒を並べる。所どころに、昔懐かしき田園風景が覗かれる。駅から6分ほどで山門に。山門＝仁王門周りの紅葉が迎えてくれる。





仁王門を潜り階段を下りて参拝料500円を払い、本堂前の広場に出る。



右手東側の水連池方向に、順路とは逆になるが、反時計回りに進んで行く。両サイドに紫陽花が植え込まれており、その季節には「あじさい寺」の俗称に相似した風景を想像させる。



水連池周りを囲むモミジが錦色を織りなしている。



回廊下を潜り、菖蒲池を左手に見ながら菖蒲池のある谷合いへと降りて行くと、先ほどの回廊越しにモミジ・イチョウの色合いが楽しめる。

菖蒲池は、どこの菖蒲園もそうであるように、この季節は殺伐として物悲しい。



竹藪横の坂を上がり、本堂裏の小徑に回る。



家康の側室である秋山夫人の墓に菊の大輪がたむけられている。

南無観音大菩薩の石碑前にも菊の花列が続く。菊と紅葉のコラボレーションがナイスだ。



本堂前に回り込んで、記念写真を。



本堂前を墓地側から南側先にある五重塔側に回り込む。その先に鐘楼がある。鐘楼は開口部が上下に狭く、鐘がよく見えない珍しい鐘楼だ。



残念ながら、時を知らせる鐘の音を聞くことは出来なかった。



五重塔から本堂広場に降りて行く。

モミジの枝の隙間をとおして、寺らしい風景が望める。



広場から仁王門側を見返すと、紅色とまだ緑色の葉っぱとが混然一体の錦絵を描いている。



先ほど降りてきた男階段を避け、右側の女坂を上がって行くとモミジの霞に見え隠れして仁王門が見える。

このあたりが一番の見どころかもここでもう一枚記念写真を。



ランチに向けて 11:30~13:00

参道を北小金駅方向に戻り、駅近1分のフランス料理店「モンラパン」に。数日前に予約を済ませ、ミニコースランチ（2000円）を注文。サラダ・オードブル・オニオンスープ・メインディッシュ・デザート・ティーがセットされている。メインは魚か肉を選ばせてくれる。女性陣はマグロのソテー、男性陣は豚のミルフィーユを注文。どちらもなかなかの味である。「ご馳走様」とメイドのお嬢さんに挨拶をして次の目的地へと店を出る。





息をきって登った甲斐有って東漸寺は錦絵のようで、期待を裏切らずに待っていてくれた。

本堂回り、本堂南裏のグラウンド回り、山門周り、そして参道にと紅葉は目を喜ばせてくれる。

紅葉だけで比べれば東漸寺に軍配を挙げたい位だ。



東漸寺へ 13:15~14:30

北小金駅のコンコースを南に抜け、そのまま大きな交差点を右手の坂を下りて行く。坂の右手にカキの実が朱色に枝を飾っていて、思わずシャッターを切る。



すぐ先の信号の左手に寺へ通じる幅2m程の急な階段がある。階段数を数えたら75段ほども有る。





山門を出て、左手に進むと先ほどの大きな交差点であった。

二つのお寺で、今日の天気を僅かな時間のみの小雨としてくれたこと、WINGSメンバーの健康増進、教皇フランシスコさんとともに平和であることを祈念・感謝させて頂いた。

紅葉ウォーキングは、ドア to ドアにて約1万200歩。14:30 北小金駅から東京杉並へと帰途に着いた。

20191127

suginami WINGS

記: JUSTing



本来は、山門側から境内に入るべきだったのだが、急な階段を登った後だけに、余計にその感を抱いた。

